

30th.
regular
concert

第30回定期演奏会

東京ベートーヴェンカルテット

BEETHOVEN QUARTETT, TOKYO

モーツァルト：弦楽四重奏曲 第12番 変ロ長調 k.172

W.A.Mozart : String Quartet No.12 in B-Flat major k.172

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第13番 変ロ短調 op.138

D.D.Shostakovich : String Quartet No.13 in B-Flat minor op.138

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131

L.V.Beethoven : String Quartet No.14 in C-sharp minor op.131



Maya Nuriya



Kouji Mizumura



Yumiko Nakagawa



Toshio Nakiri

1st Vn 塗矢真弥
2nd Vn 水村浩司
Va 中川裕美子
Vc 奈切敏郎

2018 8/13 mon. (月)

13th August monday 2018 Tokyo Bunka-kaikan Recital-Hall

東京文化会館 小ホール

7:00pm 開演 6:30pm 開場 全自由席 4,500

主催：響の会 共催：門下生の会
後援：日本フィルハーモニー交響楽団 日本フィルハーモニー協会
お問合せ：日本フィル チケットデスク 03-5378-5911
チケット：東京文化会館 チケットサービス 03-5685-0650

BEETHOVEN
QUARTETT,
TOKYO
東京ベートーヴェンカルテット

1971年日本フィルのチェリスト、奈切敏郎を中心に「奈切弦楽四重奏団」として結成され、演奏活動を開始。1989年第100回の演奏会を機にベートーヴェン研究家故小松雄一郎氏を名付親に「東京ベートーヴェンカルテット」と名称を改める。東京荻窪での定期演奏会は、2018年8月で449回を迎える。これまで東京を中心に北海道、岩手、福島、埼玉、神奈川、茨城、栃木、石川、千葉等全国各地で演奏。古典から現代曲までレパートリーは幅広く、1986年ベートーヴェン、1992年ショスタコーヴィチ、1999年モーツァルトの弦楽四重奏曲の

全曲演奏を成し遂げた。再び、各全曲演奏に取り組んでいる。東京文化会館での定期演奏会を毎年行い、好評を博す。本年第30回を迎える。又、NHK・FMに出演を重ねる。朝日新聞社主催「浜離宮の室内楽」に出演。今後の日本における室内楽の発展にその責務を担おうと、全国各地の室内楽を真摯に追求したいという情熱を持った演奏家の育成にも力を注ぎ、〈セレクトィヴ・アーティスト・シリーズ〉を行っている。本格的な弦楽四重奏団として注目されており、その意欲的活動と演奏は、高く評価されている。

塗矢真弥 *Maya Nuriya 1st Vn*

英国ABRSMより Licenciate of Royal Schools of Music 演奏家ディプロマを受ける。ヴァイオリンを広瀬八朗、海野義雄、ティボール・ヴァルガ、室内楽を青木十良の各氏に師事。スイス留学中、メニューヒン等の講習を受ける。日演連およびNHKのオーディションに合格。現在は、ソロ、室内楽、オーケストラの各分野において活動している。

水村浩司 *Kouji Mizumura 2nd Vn*

愛知県名古屋市出身。東京芸術大学音楽学部器楽科を卒業し、同大学大学院修士課程修了。北垣紀子、故久保田良作、澤和樹、山口裕之、松原勝也の各氏に師事。1996年全日本学生音楽コンクール名古屋大会小学生の部第1位。2001年同コンクール高校の部第1位。ソリストとして東京シティフィルハーモニック他数々のオーケストラとヴァイオリン協奏曲を共演。2001年及び2003年には名古屋にてリサイタルを行う。オーケストラ奏者としては数々のプロオーケストラでゲストコンサートマスターをつとめる。現在、東京室内管弦楽団首席奏者、クライネス・コンツェルトハウス弦楽四重奏団メンバー。

中川裕美子 *Yumiko Nakagawa Va*

東京音楽大学卒業。その後、同大学にて研究員を務めた。その間、兎東俊之氏、川崎和憲氏に、ロスアンジェルスにてミルトン・トーマス氏に師事。また、アメリカ、メキシコ州タオス音楽祭にも参加。その後、小国英樹氏に師事。87年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。91年ボストンロンジー音楽院にてリサイタルを行い、好評を得た。室内楽活動と共にソロ活動も意欲的に取り組んでおり、いずれも好評を得ている。

奈切敏郎 *Toshio Nakiri Vc*

国立音楽大学に学ぶ。11歳より長沼康光氏にチェロの手ほどきを受ける。丹野弥之助氏、菊地俊一氏、小沢弘氏、青木十良氏に師事。またダニール・シャフラン、シュトルク、フィンケの各氏にレッスンを受ける。名ピアニスト近江康夫氏との35年に及ぶ活動で多くの名演を残している。指揮法を渡辺暁雄氏に師事。また朝比奈隆氏に多くの教えを受ける。アカデミー・ピアノ・トリオ、アンサンブル・アルスノヴァなどを経て、1971年日本フィルハーモニー交響楽団に入団。32年間トップ・チェリストとしての重責を担う。1971年より東京ベートーヴェンカルテットを主宰、これまで全国各地で演奏会を行い、好評を博している。またNHK・FMリサイタルに数多く出演。室内楽活動、ソロ活動、チェロ教育にと幅広く、意欲的に活動を展開している。1973年より重ねているリサイタルも、2016年3月東京文化会館において第14回を開催、好評を博す。2007年、36年間務めた日本フィルを定年退団。その入魂と情熱の力演は、多くの人々に感銘を与えている。また指揮活動にも本格的に取り組んでいる。